

◆ 議案の審議結果等 (平成25年第3回定例区議会) ◆

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥

Table with columns for '議員名等', '議案名等', '出席者数', '投票数', '賛成', '反対', '議決結果', and '議決月日'. It lists various council proposals and their voting outcomes.

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数24名 欠員1名

災害につよいコミュニティづくりに向けて、区民集会を開催!

区民集会運営協議会では、10月28日(月)午後6時30分から、区議会議場において、区民集会を開催しました。

今回は「災害につよいコミュニティづくり」マンションと地域コミュニティをテーマに、平成25年度より26年度の2年間をかけて、取り組んでいきます。千代田区は、マンション等の集合住宅に8割以上の方がお住いになっており、特に、災害時における地域の町会とマンション等との連携・協力体制が課題になっています。

そこで、その課題について、議員が地域にお伺いし、区民の皆様と共に考え、課題解決に向けた取り組みを行っていくものです。

今年度は「近助の精神」「防災隣組」を提唱されている、防災システム研究所長で防災危機管理アドバイザーの山村武彦氏を講師にお招きし、講演会形式で行いました。講演会には、区内各地域の町会役員、マンション管理組合の関係者等約120名の方々のご参加をいただき、講演を熱心に聴講されました。

山村講師は「ひととは一人では生きていきません。それぞれの存在によって社会が成り立っています。だからこそ、自分でできることは自分での対応が基本です。しかし、高齢等で身体が不自由であれば自分でできることに限りがあります。可能な限り自分のことは自分でしたうえで、それでも対応できないときは隣人や行政に助けを求め、自助、近助、共助、公助です。隣人同士どこかで迷惑を掛け合い、支え合いながら生きていく、それがお互い様です。いざという時に助け合えるように、向こう三軒両隣で防災隣組をつくるとともに、普段から程良い距離感で隣人に関心を持ち、困っているな、変だなと思ったら、いつでも近くにいる人が声を掛け、助け合う、傍観者

にならない心、それが近助の精神です」と話されました。

講演会に参加された方々からは「災害の実情や発生時の対応等の話を聞き、地域での防災対策に大変参考になった」「東日本大震災の記憶を新たに、更なる防災への取り組みを行っていかうと思った。今後は、マンション等と町会で意識の共有化を図り、防災活動に生かしていきたい」等、多くのご意見をいただきました。

今後は、町会・マンション等の住民を交えた地域別交流会・意見交換会等を実施し、平成26年度の区民集会に生かしていきます。



※「区民集会」は、歴史と伝統に培われた千代田区を守り、発展させていくため、地域の抱える諸課題に対して区民自らが主体的に取り組むことが必要であることから、区民と区議会が一体となって区政の課題について議論する場として、昭和58年度から開催しているものです。

※「区民集会運営協議会」は、区民集会の企画及び運営等に関する協議の場として設置され、連合町会長8名及び区議会議員で構成されています。